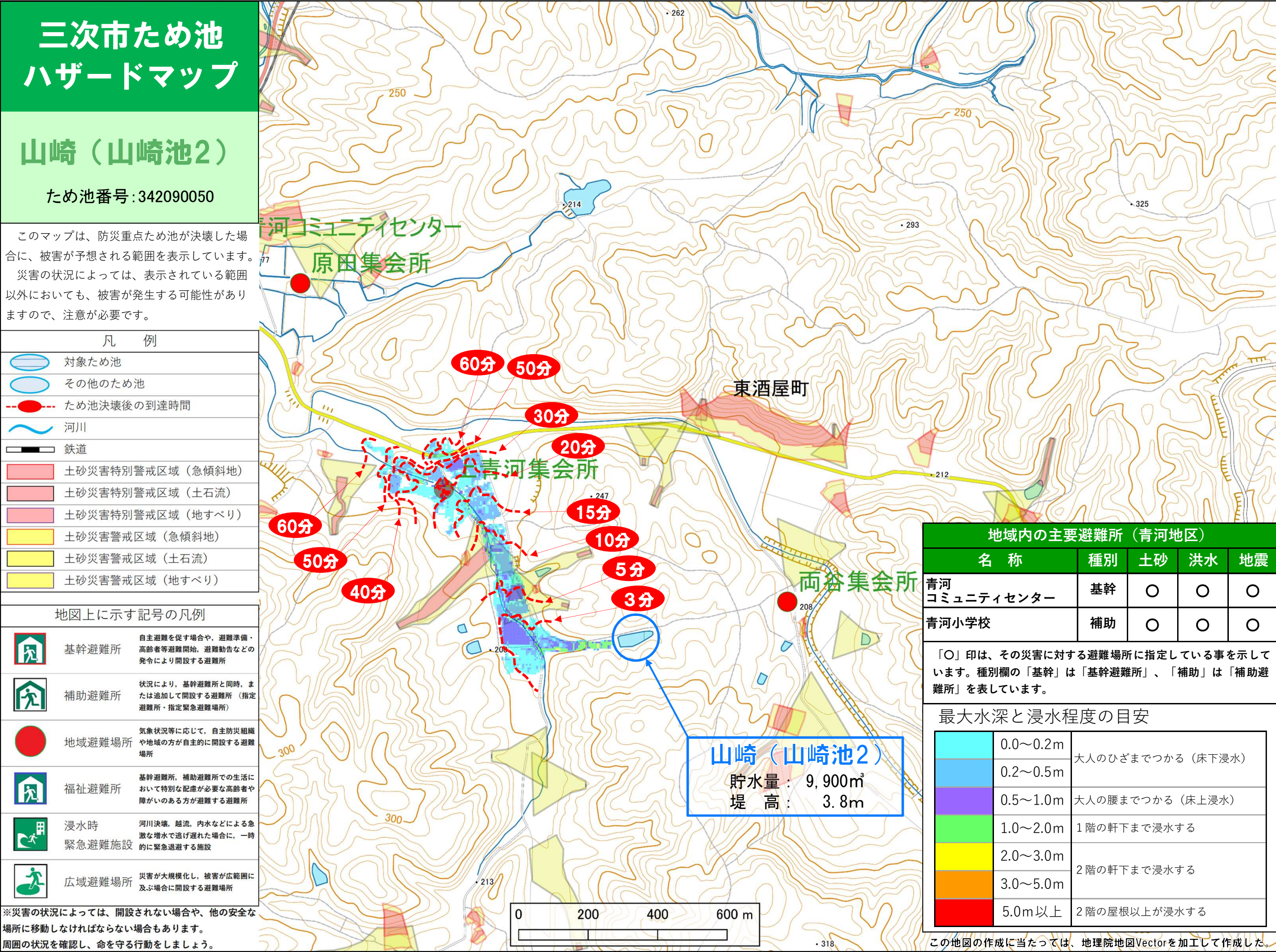




三次市ため池ハザードマップ

平成28年熊本地震や、平成30年7月豪雨などの近年の災害において、ため池が相次いで決壊し、下流の地域で被害が発生しています。このマップを活用して、ため池が決壊した場合に被害が予想される範囲や、避難方法を確認しましょう。



いざというときの緊急連絡先（TEL）

ため池の亀裂や漏水などの異常を発見した場合は、**ため池管理者** まで連絡をお願いします。

警察 110 **消防 119**

三次市役所（代表） **0824-62-6111**

三次警察署 **0824-64-0110**

備北地区消防組合・消防本部 **0824-63-1191**

災害情報案内 **0824-62-5119**

災害用伝言ダイヤル **171**（局番なし）

積極的に防災情報を入手しよう

三次市では、災害時における防災情報をさまざまな形で配信しています。

スマートフォンアプリによる配信サービス

音声告知放送の緊急放送が、お使いのスマートフォンから自動的に流れます。受信した音声放送は、何度も聞き直すことができます。



防災一斉メール配信サービス

下記アドレスに、空メールを送信して、登録してください。

bousai.miyoshi-city@raiden.ktaiwork.jp

防災情報ファックス配信サービス

防災一斉メール配信サービスが利用できない方を対象に、ファックスによる配信をおこなっています。登録手続きは、危機管理課、または各支所の窓口まで。

ため池決壊による浸水の深さを想定した避難の流れ

【マップを確認】

【浸水の深さ】

【判断】

【どこへ】

【どうやって】

●想定される浸水の深さによって、避難方法は異なります。

●裏面の地図で、自分の家で想定される浸水の深さを確認し、避難の方法を考えましょう。

3m以上の浸水

- 2階以上が浸水
- 水流が強い場合には、木造住宅が倒壊する危険がある

0.5～3m未満の浸水

- 床上浸水
- 1階以上が浸水
- 強い水流の中を歩くことは危険

0.5m未満の浸水

- 床下浸水
- 大人のひざ下程度
- 浸水の深さがひざ上になると、歩行は危険

必ず

時間と安全な避難経路が確保されていれば

少なくとも

必ず

浸水しない場所
(避難場所、道路、空き地、高台など)

- 安全な場所へ避難する
- 立退き避難

自宅の2階
危険のない近くの高い建物

- 自宅や近くの丈夫な建物の2階以上にとどまる
- 垂直避難

自宅にとどまる

- むやみな移動はかえって危険
- 屋内安全確保

●歩きやすい服装
●徒歩で避難
●お年寄りなどの避難に協力を
●事前に避難先を話し合う

●水、食べ物、簡易トイレ、懐中電灯、ラジオ、貴重品などを2階に持って上がる
●近所のお年寄りも一緒に

●こんなときは避難しましょう

- ・大規模な地震が発生したら（2～3日後までは警戒が必要）
- ・集中豪雨、長雨のとき
- ・避難勧告、避難指示（緊急）が発令されたら

「警戒レベル4」で全員が安全な場所に避難しましょう

避難情報が発令された場合には、さまざまな手段で住民のみなさんに伝達します。

「警戒レベル3」や「警戒レベル4」で、地域のみなさんで声をかけあって、安全・確実に避難しましょう。



ため池決壊の原因（大雨と地震）

大雨

集中豪雨や長雨、土砂災害や流木などによって、ため池の水位が上昇すると、堤防で漏水が起こったり、越水した水の勢いで堤防が侵食されて、ため池が決壊するおそれがあります。

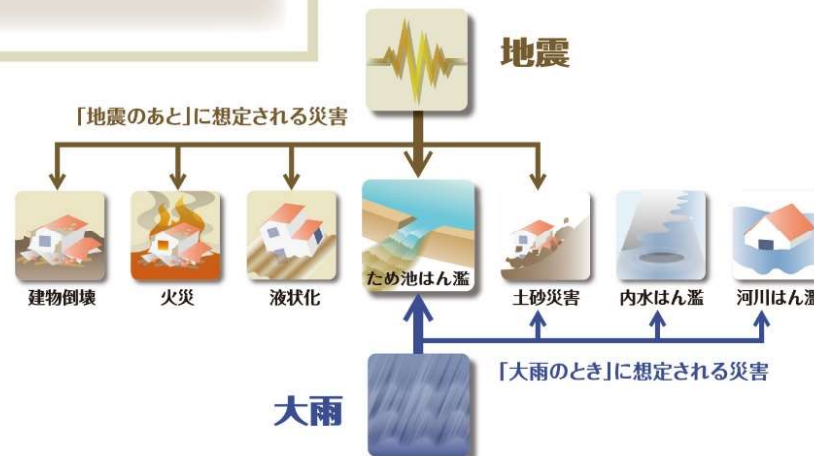
地震

地震による強い揺れによって、堤防に亀裂や陥没などが発生したり、地盤が液状化してため池が決壊することもあります。



ため池決壊と同時に発生するおそれがある災害

ため池が決壊するおそれがある状況では、周辺で様々な災害が発生していることが考えられます。ため池決壊と同時に注意が必要です。



高	警戒レベル5	既に 災害が発生 している状況です。 命を守るための最善の行動 をとりましょう。
危険度	警戒レベル4 全員が速やかに避難	速やかに避難先へ避難しましょう。 緊急避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所に避難しましょう。
	警戒レベル3 高齢者など避難	避難に時間を要する人（ご高齢の方、身体の不自由な方、乳幼児等）とその支援者 は避難をしましょう。その他の人は、避難の準備を整えましょう。
	警戒レベル2	ハザードマップで避難行動を確認しましょう。
低	警戒レベル1	災害への心構えを高めましょう。

※各種の情報は、警戒レベル1～5の順番で発表されるとは限りません。状況が急変することもあります。
※危険を感じたら、これらの発表を待たずに自主避難をしてください。
※逃げ遅れによる被災が多くなっています。